

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2011年3月1日～2021年2月17日	
運用方針	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国通貨建債券および新興国通貨建債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	今後の世界経済の成長のけん引役になることが期待される国(ニューリーダー)の債券を中心に投資します。
組入制限	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時(毎月17日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第67期	(決算日	2016年 9月20日)
第68期	(決算日	2016年10月17日)
第69期	(決算日	2016年11月17日)
第70期	(決算日	2016年12月19日)
第71期	(決算日	2017年 1月17日)
第72期	(決算日	2017年 2月17日)

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン(毎月決算型)」は、2017年2月17日に第72期の決算を行いましたので、第67期～第72期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 <<お問い合わせ先(クライアントサービス本部)>>
 電話番号: 03-3548-5690
 (営業日の午前9時～午後5時)
 ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.com/jp

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	期 騰 落 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			税 込 分 配	み 金			
第8作成期	第43期 (2014年 9月17日)	円 10,031	円 80	% 2.0	% 94.4	% —	百万円 69,103
	第44期 (2014年10月17日)	9,647	80	△3.0	95.4	—	67,347
	第45期 (2014年11月17日)	10,398	80	8.6	95.4	—	73,573
	第46期 (2014年12月17日)	9,878	80	△4.2	95.7	—	69,863
	第47期 (2015年 1月19日)	10,131	80	3.4	96.2	—	72,475
	第48期 (2015年 2月17日)	9,750	80	△3.0	94.5	—	70,916
第9作成期	第49期 (2015年 3月17日)	9,429	80	△2.5	94.4	—	69,770
	第50期 (2015年 4月17日)	9,672	80	3.4	90.7	—	72,344
	第51期 (2015年 5月18日)	9,605	80	0.1	94.3	—	72,119
	第52期 (2015年 6月17日)	9,412	80	△1.2	91.5	—	70,220
	第53期 (2015年 7月17日)	9,173	80	△1.7	97.1	—	67,544
	第54期 (2015年 8月17日)	8,822	80	△3.0	97.0	—	64,177
第10作成期	第55期 (2015年 9月17日)	8,081	80	△7.5	98.1	—	55,280
	第56期 (2015年10月19日)	8,178	80	2.2	95.3	—	53,428
	第57期 (2015年11月17日)	8,128	80	0.4	97.0	—	52,402
	第58期 (2015年12月17日)	7,970	80	△1.0	97.9	—	49,912
	第59期 (2016年 1月18日)	7,332	80	△7.0	94.4	—	44,489
	第60期 (2016年 2月17日)	7,314	80	0.8	97.7	—	43,039
第11作成期	第61期 (2016年 3月17日)	7,438	80	2.8	93.7	—	42,385
	第62期 (2016年 4月18日)	7,287	80	△1.0	93.5	—	40,217
	第63期 (2016年 5月17日)	7,234	80	0.4	94.2	—	38,162
	第64期 (2016年 6月17日)	6,932	80	△3.1	93.0	—	34,594
	第65期 (2016年 7月19日)	7,147	80	4.3	93.7	—	34,193
	第66期 (2016年 8月17日)	6,889	80	△2.5	91.9	—	31,383
第12作成期	第67期 (2016年 9月20日)	6,733	40	△1.7	92.6	—	29,062
	第68期 (2016年10月17日)	6,881	40	2.8	93.0	—	26,442
	第69期 (2016年11月17日)	6,776	40	△0.9	92.9	—	24,820
	第70期 (2016年12月19日)	7,121	40	5.7	92.8	—	24,939
	第71期 (2017年 1月17日)	7,016	40	△0.9	94.0	—	23,853
	第72期 (2017年 2月17日)	7,135	40	2.3	93.9	—	23,271

(注1) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
		円	騰 落 率 %		
第67期	(期 首) 2016年 8月17日	6,889	—	91.9	—
	8月末	6,939	0.7	93.8	—
	(期 末) 2016年 9月20日	6,773	△1.7	92.6	—
第68期	(期 首) 2016年 9月20日	6,733	—	92.6	—
	9月末	6,736	0.0	94.3	—
	(期 末) 2016年10月17日	6,921	2.8	93.0	—
第69期	(期 首) 2016年10月17日	6,881	—	93.0	—
	10月末	6,888	0.1	92.9	—
	(期 末) 2016年11月17日	6,816	△0.9	92.9	—
第70期	(期 首) 2016年11月17日	6,776	—	92.9	—
	11月末	6,935	2.3	93.0	—
	(期 末) 2016年12月19日	7,161	5.7	92.8	—
第71期	(期 首) 2016年12月19日	7,121	—	92.8	—
	12月末	7,066	△0.8	94.0	—
	(期 末) 2017年 1月17日	7,056	△0.9	94.0	—
第72期	(期 首) 2017年 1月17日	7,016	—	94.0	—
	1月末	7,121	1.5	94.0	—
	(期 末) 2017年 2月17日	7,175	2.3	93.9	—

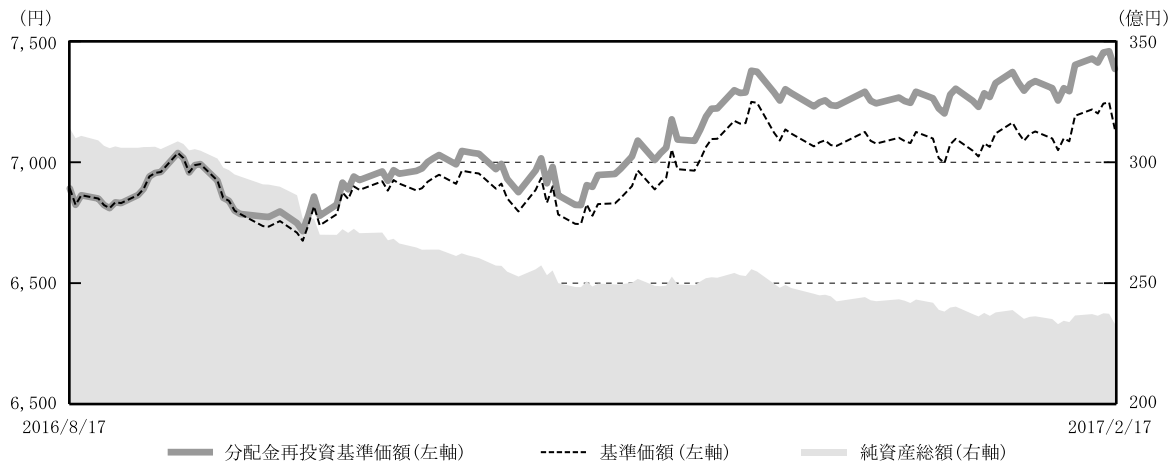
(注1) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第67期～第72期：2016年8月18日～2017年2月17日）



【基準価額・騰落率】

第67期首：6,889円

第72期末：7,135円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：+7.2%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

・分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年8月17日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

ブラジル債券などへの投資効果（利回り効果と債券価格の上昇）が基準価額にプラスに働きました。また、オーストラリアドル、カナダドル、ニュージーランドドル、ブラジルレアル、インドネシアルピア、インドルピーの対円での上昇がプラス要因となりました。

<下落要因>

メキシコ債券、オーストラリア債券、ニュージーランド債券などの利回り上昇（価格は下落）が基準価額のマイナス要因となりました。

3. 投資環境について

【債券市況】

当作成期の債券市場は、ブラジルとインドは好調であったものの、その他の市場は全体的に軟調（利回りは上昇）となりました。先進国債券市場では、当作成期初は比較的狭いレンジでの推移が続いていましたが、2016年11月に米国大統領選挙で共和党のトランプ氏が勝利したことを受け同国の金利先高観が高まったこと、また2016年末から当作成期末にかけて米国経済の成長率が高まるとの見通しから利上げ*ペースが予想より速まるのではないかとの見方が広がり、債券利回りは上昇しました（価格は下落）。

一方、新興国債券市場は、市場ごとに異なる動きとなりました。ブラジル債券市場では、ジルマ前大統領の罷免によりテメル政権が発足するなど政局の混乱に収束の兆しが見られたことが、債券市場にとり支援材料となりました。さらに、テメル政権下での積極的な財政健全化策や経済活性化策への取り組みに加え、インフレ率の低下を背景とした利下げの実施なども好材料となり、ブラジル債券市場は一段高となりました。他方、メキシコでは、上述の米国大統領選挙で保護貿易主義を掲げる共和党のトランプ氏が勝利したことを受け、メキシコ経済への影響を巡る不透明感が高まり、債券市場は売り優勢の展開となりました。その他、インドネシア、マレーシア、インドの債券市場は、当作成期を通して一進一退の展開となる中、期首比ではインドネシア債券およびマレーシア債券の利回りが上昇した一方、インド債券の利回りは僅かに低下しました。

* 米国は2016年12月に2015年12月以来、1年振りの利上げを実施しました。

【為替相場】

当作成期の投資対象国の為替市場については、期初から11月上旬にかけて全般的に対円で小幅な値動きでの推移が続きました。しかし、その後の米国大統領選挙を受け、米ドル高・円安が大幅に進行したことから、当作成期を通して投資対象国の通貨は概ね円に対して上昇しました。

4. ポートフォリオについて

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンドへの投資を通じて、投資対象としている先進国と新興国の債券に投資しました。

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド>

国別組入比率は、経済・市場環境を考慮し、先進国債券については、当作成期を通してオーストラリア債券、カナダ債券、ニュージーランド債券の組み入れ比率を概ね15～16%程度に維持しました。

新興国債券については、当作成期を通して、ブラジル債券、メキシコ債券の組入比率を12～15%程度、インドネシア債券、マレーシア債券を9～10%程度、インド債券*を4～5%程度に維持しました。

また、当作成期を通して、ポートフォリオ全体でデュレーションを5～6年程度、平均格付けをA～A+程度としました。

* ルクセンブルク籍のインド債券ファンドを保有することで、インド債券への実質的な投資を行いました。

5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第67期から第72期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも40円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

投資対象国のうち、特にオーストラリア、カナダ、ニュージーランド、メキシコの債券利回りは過去の経験則から見て米国の債券利回りとの連動性が高く、今後、トランプ米政権下でのインフラ投資拡大や減税などを背景に米国の利上げペースが予想以上に加速した場合、これらの国の債券利回りに上昇（債券価格に下落）圧力が働く可能性があります。特にメキシコについては、トランプ政権の政策を巡る不透明感、特に北米自由貿易協定（NAFTA）見直しの動きが懸念要因となっており、メキシコペソが短期的に不安定な値動きを続ける可能性があるため、今後の動向を注視していきます。

その他の新興国市場の投資環境は、概ね良好と思われれます。まず、ブラジルでは、これまでの金融引き締めや緊縮財政の効果から、引き続きインフレ率が低下傾向をたどると予想され、中央銀行は一段の利下げを行うことが見込まれます。また、ブラジル経済はこれまでの低迷を脱し、2017年にはプラス成長に転じると当社では見えています。インドネシアでは、インフレ率の落ち着きや経常収支赤字の縮小などが引き続き市場を下支えすると期待されています。さらに、インドについては、モディ政権による構造改革の進展から実質国内総生産（GDP）成長率が予想以上に改善すると見られており、またインド準備銀行（中央銀行）は引き続きインフレ抑制に重点を置いていることから、これらがインド債券市場にプラスに働くと考えます。

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンドへの投資を通じて、投資対象としている先進国と新興国の債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド>

引き続き経済ファンダメンタルズ（基礎的諸条件）が良好な国への投資を行います（投資環境の変化に応じて今後、投資対象市場を変更することがあります）。投資戦略としては、米国の金融政策など引き続き外部環境を注視しつつ、投資対象国の債券および通貨のバリュエーションを勘案し選別的な投資を継続していきます。

◎ 1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第67期～第72期)		項目の概要
	2016/8/18～2017/2/17		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 60	% 0.866	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(30)	(0.436)	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(28)	(0.408)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.054	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.035)	振替制度に係る費用、印刷業者に支払う法定書類に係る費用等
合計	64	0.920	
作成期中の平均基準価額は、6,947円です。			

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注5) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税(1万口当たり2円)が含まれます。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況(2016年8月18日から2017年2月17日まで)

決 算 期	第 67 期 ～ 第 72 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	57,306	71,604	8,281,844	10,323,102

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2016年8月18日から2017年2月17日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 67 期 ～ 第 72 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,851	百万円 43	% 1.1	百万円 13,355	百万円 6,517	% 48.8

平均保有割合98.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

（注）単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2017年2月17日現在

種 類	第11作成期末		第 12 作 成 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	千口 25,889,588	千口 17,665,050	千口 23,437,988	千円 23,437,988

（注）単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2017年2月17日現在

項 目	第 12 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド	千円 23,437,988	% 99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	122,872	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	23,560,860	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（23,807,776千円）の投資信託財産総額（24,086,137千円）に対する比率は98.8%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝113.47円、1カナダドル＝86.76円、1メキシコペソ＝5.56円、1ブラジルリアル＝36.71円、1オーストラリアドル＝87.26円、1ニュージーランドドル＝81.79円、1マレーシアリング＝25.47円、100インドネシアルピア＝0.86円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年9月20日) (2016年10月17日) (2016年11月17日) (2016年12月19日) (2017年1月17日) (2017年2月17日)

項 目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
(A) 資 産	29,430,147,503円	26,935,698,450円	25,110,737,836円	25,310,653,703円	24,101,244,862円	23,560,860,582円
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド(評価額)	29,283,886,517	26,632,125,156	25,005,427,201	25,118,299,084	24,024,563,366	23,437,988,718
未 収 入 金	146,260,986	303,573,294	105,310,635	192,354,619	76,681,496	122,871,864
(B) 負 債	368,006,446	492,987,862	290,367,755	371,607,071	247,647,428	289,832,912
未 払 収 益 分 配 金	172,644,143	153,706,282	146,524,395	140,089,809	135,993,393	130,462,937
未 払 解 約 金	146,260,986	303,573,294	105,310,635	192,354,619	76,681,496	122,871,864
未 払 信 託 報 酬	48,676,136	34,977,578	37,474,679	37,774,639	33,293,715	34,517,778
そ の 他 未 払 費 用	425,181	730,708	1,058,046	1,388,004	1,678,824	1,980,333
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	29,062,141,057	26,442,710,588	24,820,370,081	24,939,046,632	23,853,597,434	23,271,027,670
元 本	43,161,035,932	38,426,570,538	36,631,098,897	35,022,452,320	33,998,348,409	32,615,734,460
次 期 繰 越 損 益 金	△14,098,894,875	△11,983,859,950	△11,810,728,816	△10,083,405,688	△10,144,750,975	△9,344,706,790
(D) 受 益 権 総 口 数	43,161,035,932口	38,426,570,538口	36,631,098,897口	35,022,452,320口	33,998,348,409口	32,615,734,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,733円	6,881円	6,776円	7,121円	7,016円	7,135円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(注1) 当ファンドの第67期首元本額は45,556,360,251円、第67～72期中追加設定元本額は103,221,653円、第67～72期中一部解約元本額は13,043,847,444円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

◎損益の状況

	自2016年8月18日 至2016年9月20日	自2016年 9月21日 至2016年10月17日	自2016年10月18日 至2016年11月17日	自2016年11月18日 至2016年12月19日	自2016年12月20日 至2017年 1月17日	自2017年1月18日 至2017年2月17日
項 目	第 67 期	第 68 期	第 69 期	第 70 期	第 71 期	第 72 期
(A) 有価証券売買損益	△ 453,811,734円	749,267,347円	△ 205,848,749円	1,383,711,390円	△ 188,723,448円	550,370,746円
売 買 益	12,169,370	780,911,977	8,180,563	1,418,154,185	3,251,242	564,515,107
売 買 損	△ 465,981,104	△ 31,644,630	△ 214,029,312	△ 34,442,795	△ 191,974,690	△ 14,144,361
(B) 信託報酬等	△ 49,101,317	△ 35,283,105	△ 37,802,017	△ 38,104,597	△ 33,584,535	△ 34,819,287
(C) 当期損益金(A+B)	△ 502,913,051	713,984,242	△ 243,650,766	1,345,606,793	△ 222,307,983	515,551,459
(D) 前期繰越損益金	△ 8,498,307,711	△ 8,099,532,815	△ 7,137,441,882	△ 7,131,287,367	△ 5,749,333,743	△ 5,800,872,101
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 4,925,029,970 (2,511,254,054)	△ 4,444,605,095 (2,178,710,436)	△ 4,283,111,773 (2,033,508,069)	△ 4,157,635,305 (1,885,583,050)	△ 4,037,115,856 (1,830,773,098)	△ 3,928,923,211 (1,701,029,633)
(売買損益相当額)	(△ 7,436,284,024)	(△ 6,623,315,531)	(△ 6,316,619,842)	(△ 6,043,218,355)	(△ 5,867,888,954)	(△ 5,629,952,844)
(F) 計 (C+D+E)	△ 13,926,250,732	△ 11,830,153,668	△ 11,664,204,421	△ 9,943,315,879	△ 10,008,757,582	△ 9,214,243,853
(G) 収益分配金	△ 172,644,143	△ 153,706,282	△ 146,524,395	△ 140,089,809	△ 135,993,393	△ 130,462,937
次期繰越損益金(F+G)	△ 14,098,894,875	△ 11,983,859,950	△ 11,810,728,816	△ 10,083,405,688	△ 10,144,750,975	△ 9,344,706,790
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 4,989,771,524 (2,446,597,656)	△ 4,490,716,980 (2,132,613,266)	△ 4,345,384,641 (1,971,254,374)	△ 4,157,635,305 (1,885,626,345)	△ 4,094,913,048 (1,772,987,741)	△ 3,948,492,651 (1,681,465,726)
(売買損益相当額)	(△ 7,436,369,180)	(△ 6,623,330,246)	(△ 6,316,639,015)	(△ 6,043,261,650)	(△ 5,867,900,789)	(△ 5,629,958,377)
分配準備積立金	1,991,721,118	1,783,781,443	1,705,748,118	1,620,536,207	1,578,232,403	1,516,563,602
繰越損益金	△ 11,100,844,469	△ 9,276,924,413	△ 9,171,092,293	△ 7,546,306,590	△ 7,628,070,330	△ 6,912,777,741

(注1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第67期計算期間末における費用控除後の配当等収益(109,894,982円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,511,339,210円)および分配準備積立金(1,989,728,725円)より分配対象収益は4,610,962,917円(10,000口当たり1,068円)であり、うち172,644,143円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注5) 第68期計算期間末における費用控除後の配当等収益(110,457,247円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,178,725,151円)および分配準備積立金(1,780,918,593円)より分配対象収益は4,070,100,991円(10,000口当たり1,059円)であり、うち153,706,282円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注6) 第69期計算期間末における費用控除後の配当等収益(86,790,459円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,033,527,242円)および分配準備積立金(1,703,209,186円)より分配対象収益は3,823,526,887円(10,000口当たり1,043円)であり、うち146,524,395円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注7) 第70期計算期間末における費用控除後の配当等収益(128,385,838円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,885,626,345円)および分配準備積立金(1,632,240,178円)より分配対象収益は3,646,252,361円(10,000口当たり1,041円)であり、うち140,089,809円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注8) 第71期計算期間末における費用控除後の配当等収益(81,437,267円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,830,784,933円)および分配準備積立金(1,574,991,337円)より分配対象収益は3,487,213,537円(10,000口当たり1,025円)であり、うち135,993,393円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注9) 第72期計算期間末における費用控除後の配当等収益(111,168,685円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,701,035,166円)および分配準備積立金(1,516,288,414円)より分配対象収益は3,328,492,265円(10,000口当たり1,020円)であり、うち130,462,937円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注10) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、22,659,836円です。

◎分配金のお知らせ

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
当期分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円
（対基準価額比率）	0.591%	0.578%	0.587%	0.559%	0.567%	0.557%
当期の収益	25円	28円	23円	36円	23円	34円
当期の収益以外	15円	12円	17円	3円	17円	6円
翌期繰越分配対象額	1,028円	1,019円	1,003円	1,001円	985円	980円

- ◇「（対基準価額比率）」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」の運用状況
第6期（2016年2月18日～2017年2月17日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	先進国通貨建債券および新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	今後の世界経済の成長のけん引役になることが期待される国（ニューリーダー）の債券を中心に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率	債券	債券	純資産額
			組入比率	先物比率	
	円	%	%	%	百万円
第2期（2013年2月18日）	13,242	23.3	92.1	—	27,898
第3期（2014年2月17日）	12,539	△5.3	92.9	—	58,178
第4期（2015年2月17日）	14,184	13.1	93.6	—	72,596
第5期（2016年2月17日）	12,101	△14.7	96.5	—	44,247
第6期（2017年2月17日）	13,268	9.6	93.2	—	23,963

(注1) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注2) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

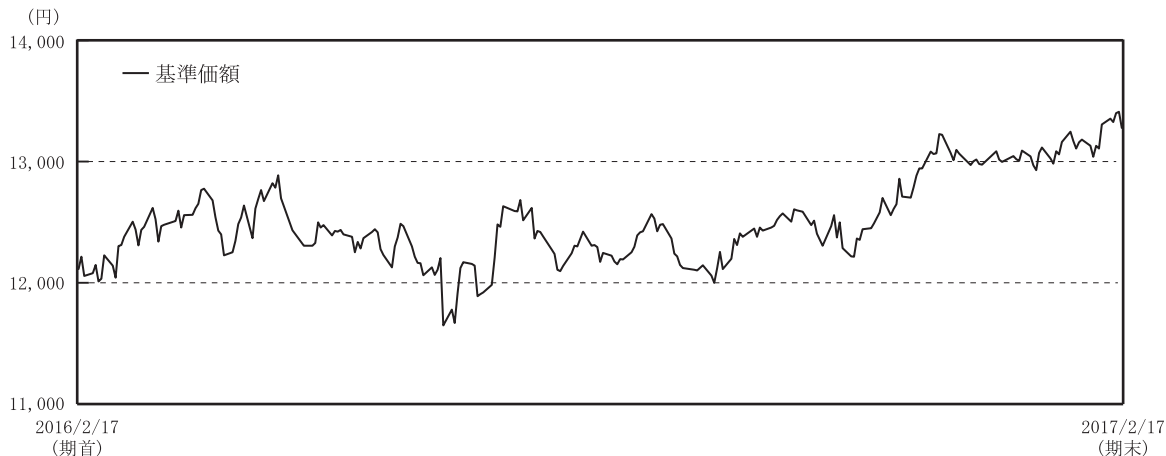
年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2016年 2月17日	12,101	—	96.5	—
2月末	12,128	0.2	92.3	—
3月末	12,752	5.4	93.5	—
4月末	12,685	4.8	93.8	—
5月末	12,430	2.7	93.3	—
6月末	12,109	0.1	92.9	—
7月末	12,370	2.2	93.6	—
8月末	12,378	2.3	93.8	—
9月末	12,101	0.0	94.3	—
10月末	12,462	3.0	92.8	—
11月末	12,637	4.4	92.9	—
12月末	12,964	7.1	93.9	—
2017年 1月末	13,159	8.7	93.9	—
(期 末) 2017年 2月17日	13,268	9.6	93.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第6期：2016年2月18日～2017年2月17日）



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

ブラジル債券、インド債券、インドネシア債券などへの投資効果（利回り効果と債券価格の上昇）が基準価額にプラスに働きました。また、オーストラリアドル、カナダドル、ニュージーランドドル、ブラジルレアルの対円での上昇がプラス要因となりました。

<下落要因>

メキシコペソ、マレーシアリングの対円での下落が基準価額にマイナス寄与しました。また、メキシコ債券などの利回り上昇（価格は下落）がマイナス要因となりました。

3. 投資環境について

【債券市況】

当期の債券市場は、オーストラリア、カナダ、メキシコ、マレーシアで下落（利回りは上昇）した一方、ブラジル、インド、インドネシアは上昇（利回りは低下）しました。なお、ニュージーランドは期首比ではほぼ横ばいとなりました。

先進国債券市場は、期初から2016年10月にかけて、中国の景気減速懸念に伴う先進国国債への需要の高まりや米国の利上げ観測*の後退などを背景に、全般的に利回りが低下（価格は上昇）しました。しかし、11月に米国大統領選挙で共和党のトランプ氏が勝利したことを受け同国の金利先高観が高まったこと、また2016年末から期末にかけて米国経済の成長率が高まるとの見通しから利上げペースが予想より速まるのではないかとの見方が広がり、債券利回りは期首比で上昇しました（価格は下落）。

一方、新興国債券市場では、市場ごとに異なる動きとなりました。ブラジル債券市場では、ジルマ前大統領の罷免に向けた動きが加速し大統領交代の期待が高まる中、2016年8月にテメル政権が発足し政局の混乱に収束の兆しが見られたことが、債券市場にとり支援材料となりました。さらに、テメル政権下での積極的な財政健全化策や経済活性化策への取り組みに加え、インフレ率の低下を背景とした利下げの実施なども好材料となり、ブラジル債券市場は一段高となりました（利回りは低下）。インドでは政府による高額紙幣の廃止を背景としたインド国債への需要の高まり（高額紙幣が預金に切り替わり、預金増を背景に銀行が国債を購入）などから、債券市場は上昇しました（利回りは低下）。他方、メキシコでは、11月の米国大統領選挙で保護貿易主義を掲げる共和党のトランプ氏が勝利したことを受け、メキシコ経済への影響を巡る不透明感が高まり、11月から期末にかけて、債券市場は売り優勢の展開となり、期首比で下落しました（利回りは上昇）。

* 米国は2016年12月に2015年12月以来、1年振りの利上げを実施しました。

【為替相場】

当期の投資対象国の為替市場については、全般的に対円では期初から軟調な展開となったものの、11月の米国大統領選挙を受け、米ドル高・円安が大幅に進行したことから、期首比では一部の通貨を除き円に対して上昇しました。

4. ポートフォリオについて

国別組入比率は、経済・市場環境を考慮し、先進国債券については、当期を通してオーストラリア債券、カナダ債券、ニュージーランド債券の組み入れ比率を概ね15～18%程度に維持しました。

新興国債券については、当期に入り間もなく投資対象市場の見直しを行い、それまで5%程度組み入れていた南アフリカ債券を全て売却し、新たに経済ファンダメンタルズに優れるインド債券への投資を開始しました*。ブラジル債券は、当期初には9%程度の組み入れとじていましたが、その後、投資環境が好転したと判断し、組入比率を徐々に14%程度へ引き上げました。この他、当期を通して、インドネシア債券、マレーシア債券、メキシコ債券の組入比率をそれぞれ9～13%程度に維持しました。

また、当期を通して、ポートフォリオ全体でデュレーションを5～6年程度、平均格付けをA～A+程度としました。

* ルクセンブルク籍のインド債券ファンドを保有することで、インド債券への実質的な投資を行いました。

5. 今後の運用方針

投資対象国のうち、特にオーストラリア、カナダ、ニュージーランド、メキシコの債券利回りは過去の経験則から見て米国の債券利回りとの連動性が高く、今後、トランプ米政権下でのインフラ投資拡大や減税などを背景に米国の利上げペースが予想以上に加速した場合、これらの国の債券利回りに上昇（債券価格に下落）圧力が働く可能性があります。特にメキシコについては、トランプ政権の政策を巡る不透明感、特に北米自由貿易協定（NAFTA）見直しの動きが懸念要因となっており、メキシコペソが短期的に不安定な値動きを続ける可能性があるため、今後の動向を注視していきます。

その他の新興国市場の投資環境は、概ね良好と思われれます。まず、ブラジルでは、これまでの金融引き締めや緊縮財政の効果から、引き続きインフレ率が低下傾向をたどると予想され、中央銀行は一段の利下げを行うことが見込まれます。また、ブラジル経済はこれまでの低迷を脱し、2017年にはプラス成長に転じると当社では見えています。インドネシアでは、インフレ率の落ち着きや経常収支赤字の縮小などが引き続き市場を下支えすると期待されています。さらに、インドについては、モディ政権による構造改革の進展から実質国内総生産（GDP）成長率が予想以上に改善すると見られており、またインド準備銀行（中央銀行）が引き続きインフレ抑制に重点を置いていることから、インド債券市場にプラスに働くと考えます。

引き続き経済ファンダメンタルズが良好な国への投資を行います（投資環境の変化に応じて今後、投資対象市場を変更することがあります）。投資戦略としては、米国の金融政策など引き続き外部環境を注視しつつ、投資対象国の債券および通貨のバリュエーションを勘案し選別的な投資を継続していきます。

◎1万口当たりの費用明細 (2016年2月18日から2017年2月17日まで)

項目	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	10円 (4)	0.082% (0.028)
(その他)	(7)	(0.053)
合計	10	0.082

- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は12,514円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。
- ・「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均価額で除して100を乗じたものです。
- ・「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税(1万口当たり7円)が含まれます。

◎当期中の売買及び取引の状況 (2016年2月18日から2017年2月17日まで)

(1) 公社債

			買付額	売付額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダドル -	千カナダドル 46,549
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 172,177	千メキシコペソ 384,827
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル -	千ブラジルリアル 50,461
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル -	千オーストラリアドル 46,315
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 3,993	千ニュージーランドドル 54,478
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリング -	千マレーシアリング 77,845
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア 291,461,700 (29,586,000)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド -	千南アフリカランド 296,984

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 国	HGIF INDIA FIXED INCOME ZD	1,700,000	17,000 千米ドル	796,000	8,738 千米ドル

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況 (2016年2月18日から2017年2月17日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 9,419	百万円 43	% 0.5	百万円 31,893	百万円 18,507	% 58.0

(注) 単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シヤンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細（2017年2月17日現在）

外国（外貨建）公社債

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期				未 期			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カ ナ ダ	千カナダドル 28,668	千カナダドル 41,699	千円 3,617,885	% 15.1	% —	% 11.1	% 4.0	% —
メ キ シ コ	千メキシコペソ 502,322	千メキシコペソ 546,389	3,037,925	12.7	—	9.6	2.3	0.8
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 89,303	千ブラジルレアル 92,963	3,412,692	14.2	14.2	6.5	7.7	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 37,883	千オーストラリアドル 42,895	3,743,077	15.6	—	10.3	1.7	3.6
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 39,481	千ニュージーランドドル 44,308	3,624,019	15.1	—	6.7	8.4	—
マレーシア	千マレーシアリング 94,000	千マレーシアリング 93,699	2,386,530	10.0	—	6.5	3.5	—
インドネシア	千インドネシアルピア 262,414,000	千インドネシアルピア 292,889,109	2,518,846	10.5	10.5	9.6	0.9	0.0
合 計	—	—	22,340,975	93.2	24.7	60.3	28.6	4.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注5) BB格以下組入比率は、スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）の格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘柄名	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ)		%	千カナダドル	千カナダドル	千円	
CAN 10.5% 03/15/2021	国債証券	10.5	6,481	8,885	770,890	2021/3/15
CAN 5% 06/01/2037		5.0	254	359	31,184	2037/6/1
CAN 5.75% 06/01/2029		5.75	6,552	9,183	796,798	2029/6/1
CAN 5.75% 06/01/2033		5.75	5,539	8,149	707,062	2033/6/1
CAN 8% 06/01/2023		8.0	292	407	35,314	2023/6/1
CAN 8% 06/01/2027		8.0	8,050	12,676	1,099,791	2027/6/1
CAN 9.75% 06/01/2021		9.75	1,500	2,038	176,842	2021/6/1
小計	—	—	—	—	3,617,885	—
(メキシコ)			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
MBONO 10% 12/05/2024	国債証券	10.0	163,308	189,094	1,051,366	2024/12/5
MBONO 8% 06/11/2020		8.0	98,169	100,985	561,476	2020/6/11
MBONO 8.5% 05/31/2029		8.5	179,000	191,632	1,065,474	2029/5/31
MBONO 8.5% 11/18/2038		8.5	30,000	31,969	177,750	2038/11/18
MBONO 8.5% 12/13/2018		8.5	31,844	32,708	181,857	2018/12/13
小計	—	—	—	—	3,037,925	—
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
BRAZIL 10.25% 01/10/2028	国債証券	10.25	19,150	19,309	708,866	2028/1/10
BRAZIL 12.5% 01/05/2022		12.5	45,662	50,314	1,847,062	2022/1/5
BRAZIL 8.5% 01/05/2024		8.5	24,491	23,338	856,763	2024/1/5
小計	—	—	—	—	3,412,692	—
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
ACGB 4.5% 04/21/2033	国債証券	4.5	5,389	6,243	544,777	2033/4/21
ACGB 4.75% 04/21/2027		4.75	11,287	13,221	1,153,745	2027/4/21
ACGB 5.5% 01/21/2018		5.5	9,623	9,960	869,126	2018/1/21
ACGB 5.5% 04/21/2023		5.5	1,509	1,770	154,528	2023/4/21
ACGB 5.75% 05/15/2021		5.75	4,067	4,651	405,933	2021/5/15
ACGB 5.75% 07/15/2022		5.75	6,008	7,047	614,965	2022/7/15
小計	—	—	—	—	3,743,077	—
(ニュージーランド)			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
NZGB 4.5% 04/15/2027	国債証券	4.5	3,600	3,955	323,546	2027/4/15
NZGB 5% 03/15/2019		5.0	5,845	6,169	504,575	2019/3/15
NZGB 5.5% 04/15/2023		5.5	13,741	15,719	1,285,737	2023/4/15
NZGB 6% 05/15/2021		6.0	16,295	18,463	1,510,159	2021/5/15
小計	—	—	—	—	3,624,019	—
(マレーシア)			千マレーシアリング	千マレーシアリング		
MGS 3.659% 10/15/2020	国債証券	3.659	33,000	33,000	840,535	2020/10/15
MGS 3.795% 09/30/2022		3.795	61,000	60,698	1,545,994	2022/9/30
小計	—	—	—	—	2,386,530	—

銘柄名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インドネシア)		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
INDOGB 10% 02/15/2028	国 債 証 券	10.0	4,849,000	5,617,324	48,308	2028/2/15
INDOGB 10% 07/15/2017		10.0	361,000	367,859	3,163	2017/7/15
INDOGB 10.5% 07/15/2038		10.5	10,200,000	12,424,212	106,848	2038/7/15
INDOGB 11.5% 09/15/2019		11.5	11,379,000	12,572,884	108,126	2019/9/15
INDOGB 12.8% 06/15/2021		12.8	11,451,000	13,778,988	118,499	2021/6/15
INDOGB 12.9% 06/15/2022		12.9	62,470,000	77,515,274	666,631	2022/6/15
INDOGB 8.375% 03/15/2034		8.375	91,131,000	93,461,219	803,766	2034/3/15
INDOGB 9% 03/15/2029		9.0	56,287,000	60,729,732	522,275	2029/3/15
INDOGB 9.75% 05/15/2037		9.75	14,286,000	16,421,614	141,225	2037/5/15
小 計	—	—	—	—	2,518,846	—
合 計	—	—	—	—	22,340,975	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

外国投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(米国)	口	口	千米ドル	千円	%
HGIF INDIA FIXED INCOME ZD	—	904,000	10,092	1,145,168	4.8
合計	証券数、金額	904,000	10,092	1,145,168	
	銘柄数<比率>	1	—	<4.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

◎投資信託財産の構成

2017年2月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	22,340,975	92.8
投 資 証 券	1,145,168	4.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	599,994	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	24,086,137	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産 (23,807,776千円) の投資信託財産総額 (24,086,137千円) に対する比率は98.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.47円、1カナダドル=86.76円、1メキシコペソ=5.56円、1ブラジルレアル=36.71円、1オーストラリアドル=87.26円、1ニュージーランドドル=81.79円、1マレーシアリングギ=25.47円、100インドネシアルピア=0.86円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年2月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	24,086,137,224円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	205,741,176
公 社 債(評価額)	22,340,975,294
投 資 証 券(評価額)	1,145,168,288
未 収 入 金	74,264,330
未 収 利 息	308,745,850
前 払 費 用	11,242,286
(B) 負 債	122,872,580
未 払 解 約 金	122,871,864
未 払 利 息	716
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	23,963,264,644
元 本	18,060,669,196
次 期 繰 越 損 益 金	5,902,595,448
(D) 受 益 権 総 口 数	18,060,669,196口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,268円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

≪注記事項≫

※期首元本額	36,564,927,969円
期中追加設定元本額	507,312,783円
期中一部解約元本額	19,011,571,556円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン (毎月決算型)	17,665,050,285円
HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン (資産成長型)	395,618,911円

◎損益の状況

自2016年2月18日
至2017年2月17日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,968,867,632円
受 取 配 当 金	9,397,086
受 取 利 息	1,959,624,221
支 払 利 息	△ 153,675
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	721,911,280
売 買 益	2,958,454,731
売 買 損	△2,236,543,451
(C) 信 託 報 酬 等	△ 28,315,064
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	2,662,463,848
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,682,964,333
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	121,774,239
(G) 解 約 差 損 益 金	△4,564,606,972
(H) 計 (D+E+F+G)	5,902,595,448
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	5,902,595,448

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ>

2016年11月12日付：

「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・オープン（毎月決算型）」が主に投資する「HSBC ニューリーダーズ・ソブリン・マザーファンド」の運用委託先を、『HSBCグローバル・アセット・マネジメント（香港）リミテッド』から『HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッド』に移管する約款変更を行いました。

これに伴い、当ファンドの購入ならびに換金の申込受付不可日の変更を行いました。なお、マザーファンドおよびベビーファンドについて信用リスク集中回避のための投資制限を規定するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

<その他のお知らせ>

ありません。